

EXPLOSION DAMAGE SUPPRESSION DEVICE SHIELD FOAM

■仕様

圧力源	蓄圧式(窒素/ヘリウム混合ガス)	
総質量	本体(薬剤・ストレナ含む)	約 11 kg
	11m型ホース	約 3 kg
	1m型ホース	約 450 g
	ノズル	約 1 kg
薬剤容(質)量	6 L(6.5 kg)	
放射時間	約 60 秒(20℃)	
泡供給量(1本あたり)	約 40 L(20℃)	
使用温度範囲	0℃~+40℃	
使用圧力範囲	7.0~9.8($\times 10^{-1}$ MPa)	

■使用上のご注意

シールドフォーム本体は圧力容器であり、出荷時に約1メガパスカルの圧力を充てんしています。保管条件や使用方法が適切でない場合、破裂のおそれがありますので、以下の項目を必ず守ってください。

⚠危険

- 錆、傷、変形、キャップのゆるみのあるものは絶対に使用しないでください。
- 分解しないでください。廃棄の際は記載されている電話番号にお問い合わせください。

⚠警告

- 腐食しやすい場所、湿気が多い場所、潮風や雨風に直接さらされる場所に保管しないでください。
- 濡れた床や地面に直接置かないでください。
- 使用温度範囲を超える場所に保管しないでください。高温の場所では破裂のおそれ、低温の場所では薬剤が凍結するおそれがあります。凍結すると使用できなくなります。
- 人に向けて放射しないでください。

⚠注意

- 試し放射はしないでください。使用できなくなります。
- 一度使ったら内圧及び薬剤が残っても必ず交換してください。
- 使用後は、当社営業担当者にお問い合わせください。
- 薬剤の有効期限は製造より2年間です。有効期限の過ぎたものは正常な性能を得られないおそれがありますので、本体ごと買い換えをお願いします。

●この製品についてのお問い合わせは、当社営業担当者または当社へご連絡ください●

※本取扱説明書は予告無く変更となる場合があります
2026年1月9日版(Ver.1.0)

販売元 **ヤマトエンジニアリング株式会社**
東京都江東区東陽5-32-15 TEL.03-6862-8990

製造元 **YSB株式会社**

2603-01

- 取扱説明書は必ず読んでください。
- いつでも読めるところに保管してください。

爆発被害抑制デバイス シールドフォーム

取扱説明書

EXPLOSION DAMAGE SUPPRESSION DEVICE SHIELD FOAM YBF-6XM



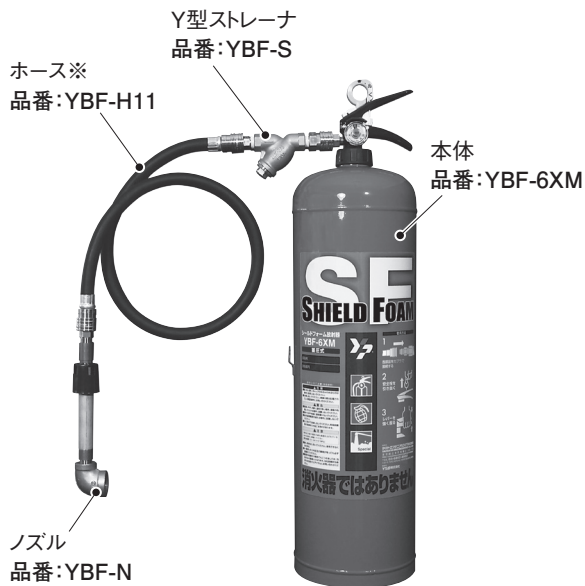
■はじめに

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
製品を正しくご使用いただくため、取扱説明書を必ずお読みになり、いつでも読めるところに保管してください。
製品は万全の状態でご提供しておりますが、保管条件の悪いものや耐用年数を過ぎたもの、あるいは誤った取扱いなどによって十分な性能を得られなかったり、事故が発生したりする場合があります。この『取扱説明書』の「危険」「警告」「注意」の事項は必ずお守りください。

ヤマトエンジニアリング株式会社

■構成部品

- シールドフォームは以下の部品より構成されます。不足がないかご確認ください。

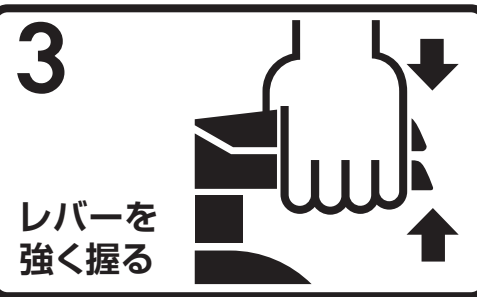
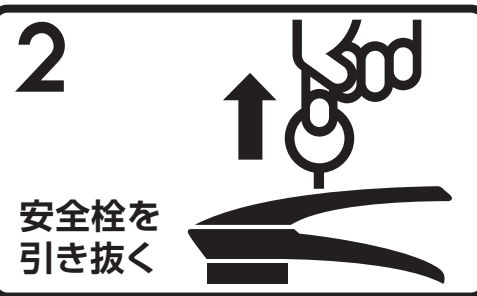
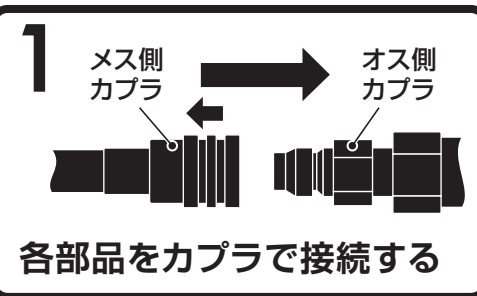


※写真は1m型ホースです。11m型ホースも構造は同じです。

■使用薬剤について

- 使用薬剤は天然のタンパク質を主原料としており、人体や環境への著しい毒性はありません。しかし、食品ではありませんので、飲み込まないようご注意ください。
- 薬剤が誤って目に入ったときは、絶対にこすらずすみやかに流水で洗い流してください。なお、充血や目に痛みを感じたときは、医師の診察を受けてください。
- 飛散した薬剤をそのまま放置しておく、カビの発生や金属類を腐食させることがあります。また、電気器具の絶縁を低下させますので、すみやかに清掃してください。
- 薬剤の有効期限は製造より2年間です。有効期限の過ぎたものは正常な性能を得られない場合がありますので、すみやかに本体ごと買い換えをお願いします。

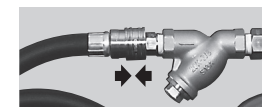
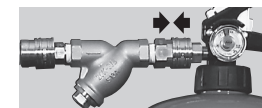
■使用方法



【組立て】

各部品はカプラ(連結器)にて接続します。カプラは各部品をワンタッチで接続することができます。以下の手順で組立ててご使用ください。

- メス側のカプラ先端をスライドさせます。
- スライドさせたままオス側のカプラを挿し込み、スライドさせた先端部を元に戻すことでロックされます。
※接続後、軽く引っ張って確実にロックされているか確認してください。
- 「本体」と「Y型ストレーナ」を接続します。
※Y型ストレーナの向きにご注意ください。
- 「Y型ストレーナ」に「11m型ホース」を接続します。
※ホースの向きはありません。
- 「11m型ホース」に「ノズル」を接続します。



【泡放射】

本体に薬剤および圧力を充てん済みですので、充てん作業は不要です。以下の手順で泡放射してください。

- 本体レバー上部の安全栓(黄色の部品)を真上に引き抜いてください。
- レバーをにぎるとノズルより泡が放射されます。
※このとき、レバーを一番下まで確実ににぎるようにしてください。にぎり方が不足(半開きの状態)すると発泡が不十分となり、適切な性能が得られません。
- レバーを放すと泡の放射は止まります。

【操作上の注意】

- 泡放射時には必ず本体を垂直に立てた状態にしてください。
- ホースは完全に延長して使用してください。巻いた状態やホースが折れた状態で使用すると圧力損失が発生し、十分に発泡しないおそれがあります。
- 一度放射した製品は薬剤が残っていたとしても再利用はしないでください。内部圧力が低下しているため新品と同等の泡性状を得られないおそれがあります。

【使用後の処理】

- 放射した薬剤は産業廃棄物として処分してください。
- ホース、ノズルを分離し、内部を流水で十分に洗浄して保管してください。洗浄しないと内部で薬剤が固化して、次回使用時に所定の性能が得られなくなります。
- 使用後は、当社営業担当までお問合せください。
- 廃棄のために本体を返却いただく場合、本体内に薬剤が残っていてもそのまま返却してください。